

らららん5号



2017.6.8

イモの苗植え



5/30(火)年中組と年少組がげんき畑にイモの苗を植え付けました。げんき畑は、きれいな畝が11列ほど完成していました。しかもマルチがかけられ雑草対策も万全でした。それぞれのクラスごとに札も立てられていました。苗植えの準備は、とてもよくできていました。パパ会の皆さん、それに先生方、準備作業をご苦労様でした。



この日、子どもたちはていねいに植え付けができました。年中組の子どもたちへは「年長さんは仁保でミソづくりやハチミツ採りをするので、げんき畑は人数が少ないけど年中さんに頼みたいのです。いいですか?」と話しました。子どもたちは、すごくやる気になってくれました。



さて、当日は本当に暑かったのです。畑もカラカラに乾いていました。でも、お話を覚えていてくれたと思います。子どもたちは作業を手際よく進めてくれました。また、15名のボランティア部のお母さんにご協力頂きました。苗がしっかり植えられているかを見ていただいたり、植え付け後の水やりをお願いしたり、大変助かりました。本当に有り難うございました。

梅雨前というのに、パパ会の作業日(5/13)以来、まったく雨が降っていないのです。畑は白く乾き、水をまいてもすごい勢いで吸い込まれ、苗の育ちが心配されました。様子を見ては、しばらく水やりが必要かなと思っています。あまり梅雨は好きではないのですが、イモ苗のために、早く梅雨が来てほしいと虫の良いことを願っています。



ボランティア部の皆さん、ありがとうございました。

みんなでチャレンジデー

5/31(水)はチャレンジデーでした。野田学園幼稚園も全員が参加しました。楽しい体力づくりができました。音楽に合わせて「サンサンたいそう」と「どうぶつたいそう1・2・3」をホールで行いました。以前にもやったことがあったと思いますが、みんなで体を動かす楽しさを十分に満喫しました。「またやりたい」「汗をかいた。熱くなった」と口々に話してくれました。みんなでやる一体感がいいなと思いました。



なお、今回のチャレンジデーは対戦相手が東京都の狛江市でした。昨年の実績を見ると、山口市がやや不利かと思いました。しかし、これまでの経験か、予想以上に参加率が高く勝利を収めました。山口市の参加率66.4%で狛こま江市の参加率は48.9%でした。昨年のチャレンジデー後でも「報告すればよかった」という声を何人か聞いたので、今回は市民の意識も高かったのではないかと思います。みなさん、お疲れ様でした。

非認知的能力とは？

最近、非認知的能力というキーワードが、教育誌で取り上げられることが多くなったように思います。しかし、今一步この言葉を理解するのは難しいように感じました。一体どんな意味を持っているのでしょうか。調べてみました。

非認知的能力とは、IQ(知能指数)などのテストで測ったり、数値化したりすることができる知的な力(認知的能力)とは異なり、意欲や好奇心、粘り強さ、意思などの能力をいいます。これらのほかに、協調性や思いやり、自制心なども非認知的能力になるでしょう。考えたり、感じたり、行動に移したりするうえでの礎となる力です。これらが基礎になり、認知的な力の育ちのベースになっていることが明らかにされています。「おもしろそう」「やってみよう」「やればできる」といった気持ちが育てば、物事や人への高い関心となり、結果的に認知的能力の育ちに貢献していると思われまます。

非認知的能力は、好奇心旺盛で自己中心的な傾向が高い、幼児期にこそ育みたい力だとされています。園での遊びや生活の中で、主体性を発揮しながら、友だちと共に豊かな経験を積み重ねることにより育まれる力であるといえるでしょう。

これまでも幼稚園において、心情・意欲・態度を育むことが大切にされてきました。これらも非認知的な能力の育成につながると考えます。

非認知的能力の内容は多岐にわたります。その中で特に大切な内容は、次の3つになるでしょう。①自尊心 ②思いやり ③自制心(セルフコントロール)です。①は自分の根っこづくりのためにも大切な部分です。②は他者との関係性の基礎として、大切な部分です。③は社会で生きていく礎です。人とかかわって生きる時、多少の摩擦はつきものです。そんなときに一時の感情に左右されない自制心は習得すべき力といえるでしょう。

そのように考えると、園での遊びや生活の中で、気持ちの一体感(一緒に楽しんだり、喜んだり、満足したりする経験)などや、負の要素としてとらえやすい「いざこざ」や「葛藤」も含めて大切にしていきたいと思っています。

ブラッシング指導



6/2(金)年長組の皆さんが、すみ歯科の歯科衛生士さんからブラッシングの指導を受けました。最初に歯垢染色液を歯に塗ってもらいました。うがいをした後、赤く染まっているところが磨き残しの部分になるのです。子どもたちは、鏡で自分の口の中をのぞき込みながらブラッシングをしていきました。磨き方のコツは、やさしく磨くこと。そして、歯ブラシを小さく動かすこと。見ながらのブラッシングは、みんな熱心に取り組みました。そして最後

後に口をゆすぐと、赤く染まっていた歯がきれいになっていました。見ながらやるのは、本当に効果があると思いました。

最後に「舌で歯がツルツルになっているか、触ってみましょう」と聞くと、指で舌を触る子が数名いました。「違う違う、舌で歯を触るんよ」と言いましたが、やってみせるのもなかなか難しかったです。最後に次の3つの約束を話されました。

①やさしく磨くこと。歯ぐきを痛めることになる。



- ②おやつをだらだら食べない。虫歯の菌もおやつが好き。
- ③自分で歯磨きをしたら、最後におうちの人に仕上げ磨きをしてもらおう。

子どものうちに正しい歯磨きの習慣を身に付けることは、長い人生で自分の歯を丁寧に使うことになると思います。おうちの皆様のご協力をよろしくお願いします。

交通安全教室

6/5(月)年中長児の交通安全教室がありました。信号の約束をていねいに教えてもらいました。赤や青はわかっているのですが、黄の説明は難しいなと思いました。「黄は、歩行者は横断を始めてはいけません。横断中の歩行者は、速やかに横断を終わるか、横断をやめて引き返す」ということでした。また、人の形の記号がある信号の青色の灯火の点滅の場合は「歩行者は横断を始めてはいけません。横断中の歩行者は、速やかに横断を終わるか、横断をやめて引き返す」ということでした。

子どもたちは、実際の歩道をどのようにわたるかを練習しました。なかなか大きな声で「サイン・右よし・左よし・右よし～左よし」が言えない子もいましたが、だんだん身に付けてほしいと思います。今後、園外に出掛ける機会も次第に増えていきます。自分で自分の安全に気を付けてほしいと思いました。今回、指導をしてくださった警察の方が「静かによく聞いてくれました」と、ほめていただきました。嬉しかったです。

